

名古屋高速道路建設の歩み

- 第1節 高速3号大高線12.1kmの建設
- 第2節 高速都心環状線10.3kmの建設
- 第3節 高速5号万場線6.8kmの建設
- 第4節 高速1号楠線5.6kmの建設
- 第5節 高速2号東山線10.3kmの建設
- 第6節 高速11号小牧線8.2kmの建設
- 第7節 高速16号一宮線8.9kmの建設
- 第8節 高速6号清須線7.0kmの建設
- 第9節 高速4号東海線12.0kmの建設



高速 3 号大高線 山崎川付近



高速 3 号大高線 瑞穂区堀田通 8 丁目



高速 3 号大高線 南区本地通 5 丁目



高速 3 号大高線 星崎料金所



高速都心環状線 東別院付近



高速都心環状線 中村区名駅南2丁目



高速都心環状線 名古屋城付近



高速都心環状線 中区外堀通



高速 5 号万場線 黄金付近



高速 5 号万場線



高速 5 号万場線と一級河川庄内川万場大橋



高速 5 号万場線 一級河川庄内川万場大橋付近



東片端 JCT から丸田町 JCT を望む



高速1号楠線 東片端入口



高速1号楠線 黒川出入口



高速1号楠線 黒川出入口東ループ



高速1号楠線 黒川出入口西ループ



高速 2 号東山線 白川出入口付近



高速 2 号東山線と若宮大通公園



高速 2 号東山線 高架から半地下への移行区間 (市道若宮大通)



高速2号東山線 掘割構造（市道若宮大通）



高速2号東山線 半地下構造（市道鏡ヶ池線）



高速2号東山線 トンネル構造（丘陵地区間）



高速2号東山線 東山トンネル坑口と高針料金所



高速 2 号東山線 緑橋換気所



高速 2 号東山線 東山換気所



楠 JCT から小牧方面を望む



楠 JCT



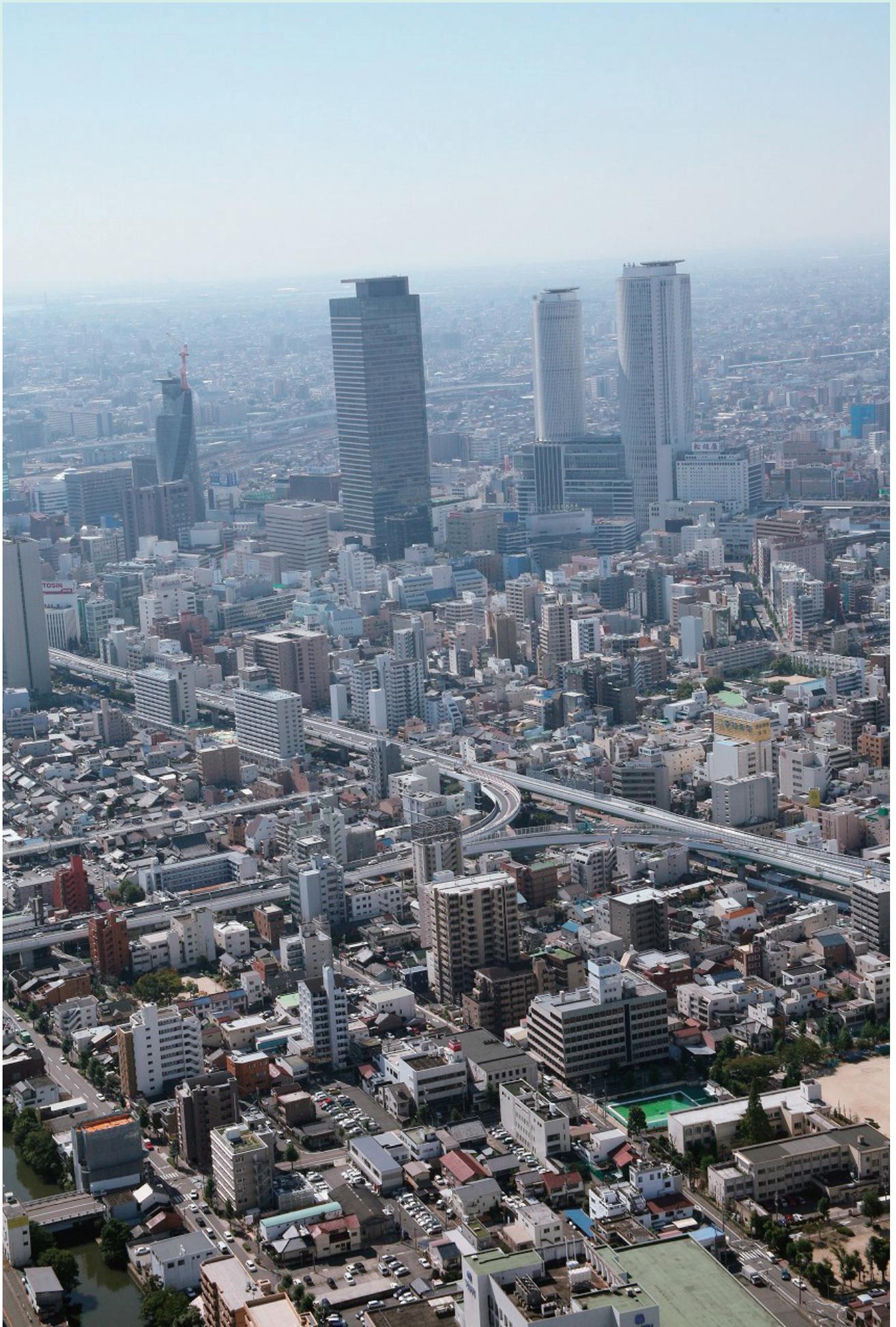
高速 16 号一宮線 (北名古屋)



高速 16 号一宮線 (北名古屋)



高速 16 号一宮線 一宮中料金所



明道町 JCT



高速 6 号清須線と一般国道 22 号堀越交差点



高速 6 号清須線赤とんぼ橋と一般国道 22 号新名西橋（一級河川庄内川）



高速4号東海線 尾頭橋付近



高速4号東海線 きらく橋（堀川）上の送り出し架設工事



高速4号東海線ときらく橋（堀川）



高速4号東海線 一般国道23号竜宮IC立体交差部



高速4号東海線 東海JCTの架設工事
(伊勢湾岸自動車道の上を1,250tクレーンにより桁を一括架設)

— 第三章のはじめに —

名古屋高速道路は、名古屋都心部において交通の集中が生じないように都心環状線を配置するとともに、都心部への交通の分散導入を図るため、都心環状線の東片端、丸田町、鶴舞南、山王、新洲崎及び明道町の各JCTから、高速1号楠線、高速2号東山線、高速3号大高線、高速4号東海線、高速5号万場線、高速6号清須線の各放射路線を都心から6方向へ向けて放射状に配置し、楠JCT、高針JCT、名古屋南JCT、名古屋西JCT及び清洲JCTで名二環と、名古屋南JCT及び東海JCTで伊勢湾岸自動車道と接続している。さらに、高速11号小牧線及び高速16号一宮線は東名高速道路及び名神高速道路の小牧IC及び一宮ICで接続している（図3参照）。

このように、名古屋高速道路は、東名高速道路、

名神高速道路、伊勢湾岸自動車道及び名二環と一体となって名古屋市及びその周辺地域の交通の円滑化を図るための高速道路ネットワークを形成している。

本章は、その時々々の社会情勢や地域の状況を踏まえつつ、地元の理解と協力を得ながら進めていった各路線の建設の歩みを、路線の概要、設計、用地取得、建設工事、施設工事、住民要望等への対応及び環境対策の項目に分けて記載したものである。

なお、名古屋高速道路の路線建設は、交通需要の高い路線を優先して工事着手したが、本章における路線及び各区間の記載順は、工事の着手順ではなく、路線及び各区間の開通順に原則として記載した。

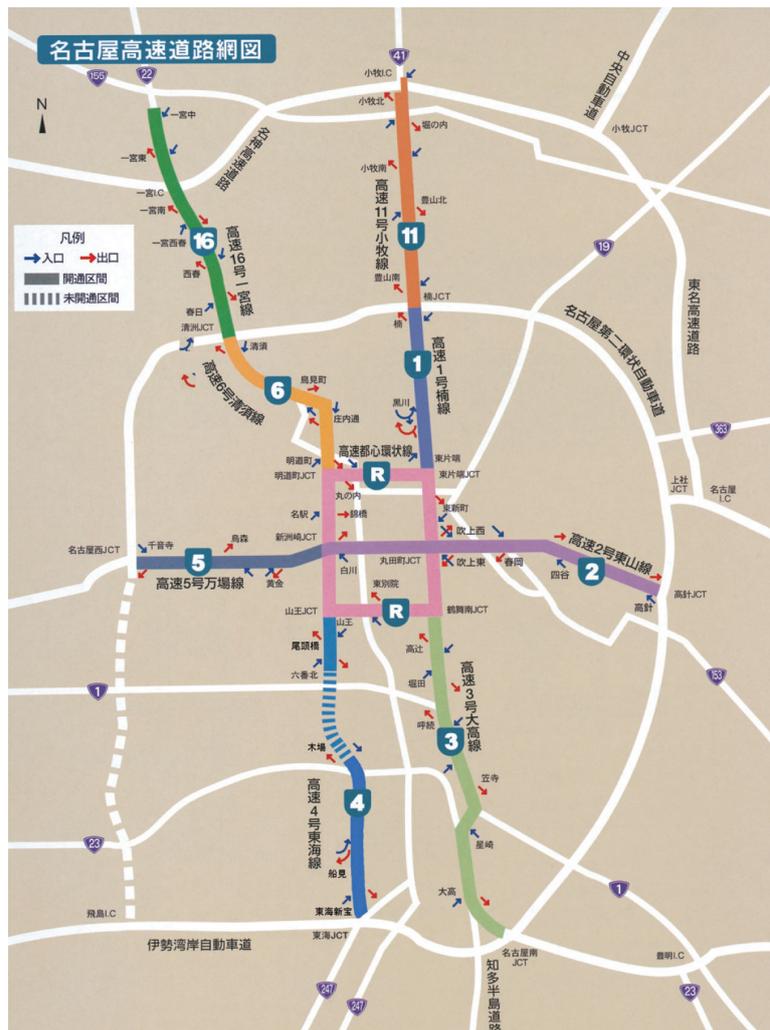


図3 名古屋高速道路全線の路線網図（平成24年3月末現在）